

# 比較決算報告書

(第 23 期)

自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

抗菌美装 株式会社

長野県飯田市中村1758番地2

比較貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

科 目	資 産 の 部			
	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
【流 動 資 産】	[ 37,582,434]	[ 28,022,638]	[ 9,559,796]	[ 34.1]
現金及び預金	23,807,083	16,961,740	6,845,343	40.4
売 掛 金	9,776,916	9,245,763	531,153	5.7
商 品	3,998,435	1,815,135	2,183,300	120.3
【固 定 資 産】	[ 104,420,345]	[ 115,057,966]	[ Δ10,637,621]	[ Δ9.2]
(有形固定資産)	( 97,541,080)	( 108,446,284)	( Δ10,905,204)	( Δ10.1)
建 物	54,191,855	62,196,490	Δ8,004,635	Δ12.9
建物付属設備	1,539,984	2,084,572	Δ544,588	Δ26.1
機 械 装 置	5,288,713	8,380,176	Δ3,091,463	Δ36.9
車 輛 運 搬 具	4,685,442	5,961,359	Δ1,275,917	Δ21.4
工 具 器 具 備 品	2,304,191	4,476,225	Δ2,172,034	Δ48.5
土 地	22,499,408	23,738,128	Δ1,238,720	Δ5.2
建設仮勘定	5,995,000	0	5,995,000	
一括償却資産	1,036,487	1,609,334	Δ572,847	Δ35.6
(無形固定資産)	( 342,194)	( 897,527)	( Δ555,333)	( Δ61.9)
ソフトウェア	283,334	838,667	Δ555,333	Δ66.2
リサイクル預託金	58,860	58,860	0	
(投資その他の資産)	( 6,537,071)	( 5,714,155)	( 822,916)	( 14.4)
保 険 積 立 金	6,537,071	5,714,155	822,916	14.4
資産の部合計	142,002,779	143,080,604	Δ1,077,825	Δ0.8

比較貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

負債の部				
科目	当期	前期	増減	増減率
	円	円	円	%
【流動負債】	[ 41,275,606]	[ 27,274,624]	[ 14,000,982]	[ 51.3]
買掛金	14,524,770	11,063,672	3,461,098	31.3
短期借入金	11,500,000	10,600,000	900,000	8.5
未払金	7,041,224	6,280,966	760,258	12.1
前受金	3,933,412	0	3,933,412	
預り金	0	△129,848	129,848	△100.0
未払法人税等	35,500	1,127,600	△1,092,100	△96.9
未払消費税	4,240,700	△1,667,766	5,908,466	△354.3
【固定負債】	[ 83,731,534]	[ 95,985,839]	[ △12,254,305]	[ △12.8]
長期借入金	63,160,000	76,728,000	△13,568,000	△17.7
長期借入金(個人)	20,571,534	19,257,839	1,313,695	6.8
負債の部合計	125,007,140	123,260,463	1,746,677	1.4
純資産の部				
【株主資本】	[ 16,995,639]	[ 19,820,141]	[ △2,824,502]	[ △14.3]
(資本金)	( 10,000,000)	( 10,000,000)	( 0)	
資本金	10,000,000	10,000,000	0	
(利益剰余金)	( 6,995,639)	( 9,820,141)	( △2,824,502)	( △28.8)
繰越利益剰余金	6,995,639	9,820,141	△2,824,502	△28.8
純資産の部合計	16,995,639	19,820,141	△2,824,502	△14.3
負債及び純資産の部合計	142,002,779	143,080,604	△1,077,825	△0.8

比較損益計算書

自令和 3 年 4 月 1 日  
至令和 4 年 3 月 31 日

科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
【純 売 上 高】	[ 104,788,633]	[ 152,335,470]	[ Δ47,546,837]	[ Δ31.2]
抗菌・美装売上	54,773,716	31,111,640	23,662,076	76.1
南信州.com売上	989,337	1,152,713	Δ163,376	Δ14.2
ネット売上	49,025,580	120,886,745	Δ71,861,165	Δ59.4
売上値引戻り高	0	Δ815,628	815,628	Δ100.0
【売 上 原 価】	[ 44,172,082]	[ 48,063,343]	[ Δ3,891,261]	[ Δ8.1]
期首棚卸高	1,815,135	1,247,691	567,444	45.5
抗菌・美装仕入	24,328,624	15,183,671	9,144,953	60.2
南信州.com仕入	44,700	38,654	6,046	15.6
ネット仕入	21,982,058	33,408,462	Δ11,426,404	Δ34.2
合 計	( 48,170,517)	( 49,878,478)	( Δ1,707,961)	( Δ3.4)
期末棚卸高	3,998,435	1,815,135	2,183,300	120.3
売上総利益	( 60,616,551)	( 104,272,127)	( Δ43,655,576)	( Δ41.9)
【販売費及び一般管理費】	[ 96,058,056]	[ 114,540,233]	[ Δ18,482,177]	[ Δ16.1]
営業損失	( 35,441,505)	( 10,268,106)	( 25,173,399)	( 245.2)
【営業外収益】	[ 38,626,427]	[ 17,921,175]	[ 20,705,252]	[ 115.5]
受取利息	261	251	10	4.0
受取家賃	26,209,524	15,047,615	11,161,909	74.2
雑収入	12,416,642	2,873,309	9,543,333	332.1
【営業外費用】	[ 613,927]	[ 355,027]	[ 258,900]	[ 72.9]
支払利息	613,927	355,027	258,900	72.9
経常利益	( 2,570,995)	( 7,298,042)	( Δ4,727,047)	( Δ64.8)
【特別損失】	[ 4,514,497]	[ 0]	[ 4,514,497]	
固定資産除却損	428,253	0	428,253	
固定資産圧縮損	4,086,244	0	4,086,244	
税引前当期純損失	( 1,943,502)	( Δ7,298,042)	( 9,241,544)	( Δ126.6)
法人税、住民税及び事業税	881,000	1,691,400	Δ810,400	Δ47.9
当期純損失	( 2,824,502)	( Δ5,606,642)	( 8,431,144)	( Δ150.4)

比較販売費及び一般管理費

自令和 3 年 4 月 1 日  
至令和 4 年 3 月 31 日

科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
広 告 宣 伝 費	1,348,612	4,379,703	△3,031,091	△69.2
荷 造 運 賃	491,793	664,426	△172,633	△26.0
販 売 促 進 費	0	50,000	△50,000	△100.0
役 員 報 酬	3,660,000	3,055,000	605,000	19.8
給 与 手 当	24,107,580	23,022,847	1,084,733	4.7
退 職 金	0	830,000	△830,000	△100.0
雑 給	73,080	3,347,903	△3,274,823	△97.8
倒産防止共済金	2,400,000	2,400,000	0	
法 定 福 利 費	3,359,066	2,401,293	957,773	39.9
厚 生 費	2,385,215	2,895,548	△510,333	△17.6
減 価 償 却 費	16,884,683	16,793,105	91,578	0.5
賃 借 料	0	323,622	△323,622	△100.0
修 繕 費	6,041,262	4,761,660	1,279,602	26.9
事 務 用 品 費	370,707	350,364	20,343	5.8
消 耗 品 費	7,897,685	14,589,475	△6,691,790	△45.9
水 道 光 熱 費	4,298,953	3,082,400	1,216,553	39.5
旅 費 交 通 費	1,317,598	2,154,965	△837,367	△38.9
手 数 料	122,874	291,432	△168,558	△57.8
租 税 公 課	3,251,671	8,526,850	△5,275,179	△61.9
交 際 接 待 費	143,565	278,790	△135,225	△48.5
保 險 料	3,878,885	3,763,687	115,198	3.1
通 信 費	1,731,517	1,718,534	12,983	0.8
諸 会 費	158,750	362,465	△203,715	△56.2
車 輛 費	1,010,946	1,287,647	△276,701	△21.5
新 聞 図 書 費	47,308	73,070	△25,762	△35.3
地 代 家 賃	6,404,708	5,507,873	896,835	16.3
研 究 開 発 費	47,687	7,868	39,819	506.1
車 両 燃 料 費	1,357,753	1,054,928	302,825	28.7
顧 問 料	315,367	310,364	5,003	1.6
研 修 費	315,184	129,637	185,547	143.1
管 理 諸 費	479,546	343,728	135,818	39.5
雑 費	2,156,061	5,781,049	△3,624,988	△62.7
販売費及び一般管理費	( 96,058,056)	( 114,540,233)	( △18,482,177)	( △16.1)

令和4年5月末日  
2022年5月末日

お取引先の皆様  
各従業員へ

令和4年3月期（第23期）決算のご報告

抗菌美装株式会社  
代表取締役 鈴木詠里子

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
別紙の通り、第23期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■コロナバブルが終わり売上減少

昨年決算は2020年4月5月にあった新型コロナウイルスによる塩素剤の特需がありましたが、本年決算はその特需がなくなっていますので売上が減少しています。（アルコール消毒剤不足による塩素剤特需によるバブル期が、2020年の2月～5月（令和2年）までありました。）

■ものづくり補助金の認定交付

総事業費1004万円（税抜）、うち補助対象経費1002万円（税抜）、補助割合1/2の補助金事業を行い実績報告し補助金交付となりました。（尚、生産性向上のためのソフトウェア、充填機、シール機、インクジェットプリンター、データサーバー等は昨年取得しています。）

■飯田市企業振興促進事業補助金の認定交付

昨年度に行った新事務所工場移転に伴う補助金申請を行い、総補助費956万円（内訳：昨年度、新社屋に移転した際の土地取得費用の10%補助＝123万円と、賃借料の3年分補助832万円）（但し、賃借料未経過分の393万円は前受金として決算計上している。次期に雑収入として計上する。）が補助金交付となりました。

■事業再構築補助事業の開始

食品添加物小分け事業、原料異物分析事業として補助金申請したところ採択されました。自動充填機、赤外分光光度計、原子吸光光度計、ガスクロマトグラフなど発注していますが、本期中には入荷できず、全て次期4月に稼働しました。総事業費2736万円（税抜）で、2/3補助で1658万円の交付予定で進めています。

■社員研修旅行

別府温泉へいきました。

■まとめ

前期、当期とも補助金がらみの事業が続いています。新工場の取得をはじめ先行投資が続いているので財務面では借入れが増えています。

## ■損益計算書

【抗菌売上】 5477 万円 (+2366 万円)

売上が伸びた要因は、地元昼神温泉の旅館の工事を受注したからである。ボイラーの入替、浴場等の塗装、足湯設置、トイレの改装 6 カ所、露天風呂へのウッドデッキ製作によるものである。毎月の管理料が伸びているわけではない。毎月のメンテナンスは横ばいである。

【ネット販売部門】 4902 万円 (-7186 万円)・・・昨年はコロナ特需 6571 万円あった

塩素.jp 2191 万円 (-7449 万円)

温泉の素.com 1228 万円 (+17 万円)

入浴剤.net 535 万円 (+10 万円)

楽天 736 万円 (+618 万円)

Amazon 211 万円 (-373 万円)

【地域貢献事業売上】 98 万円 (-16 万円)

地域情報サイト「南信州.com」として 15 期目である。

正直に申し上げ厳しい。大きな成長の見込みはない。

【売上げ総利益】 6061 万円 (-4365 万円)

【販売費および一般管理費】 9605 万円 (-1848 万円)

比較貸借対照表をご高覧いただきたい。昨年コロナ特需だったこともあって昨年度は積極的に投資した。当期は、ものづくり補助金や飯田市企業振興促進事業補助金が認定いただける見込みであったので、修繕や設備投資をおこなっている。消耗品が減少しているのは、昨年は事務所工場移転に伴う消耗品が大幅に出たが当期はそこまで不要であったので減少している。特に抑えたわけではない。

【営業損失】

家賃収入が 2620 万円ある会社である。毎年のことであるが、家賃収入を営業外損益に計上する関係で営業損失は出る。

【総論】

ネット通販部門は伸びている。若干コロナ特需が入った前々期の令和 2 年 3 月決算時に、ネット売上 3967 万円であったが、当期 4902 万円となっている。

会社の売上総利益でも、2 年前 4755 万円に対し、当期 6061 万円となっている。ネット通販により少しずつであるが成長しているのは間違いない。

販売管理費のところ(減価償却費を含む)をみないといけないが、前々期 5504 万円であったが、当期 9605 万円になっている。内訳として、給与で+954 万円、法定福利費+94 万円、複利厚生費+97 万円、水道光熱費+159 万円、地代家賃+312 万円、修繕費 376 万円、備品消耗品+286 万円、減価償却費+999 万円、倒産防止共済+180 万円、保険料+121 万円、租税公課+231 万円、雑費+183 万円、などである。

新しい事務所工場に移転して、飯田市企業振興促進事業補助金をいただくために従業員を 3 名以上増やした結果、給与等が伸び、箱が大きくなったことで水道光熱費が伸び、土地借地による家賃負担が増加した。温泉の素.com からは毎月家賃として 100 万円いただいている。補助金がらみで抗菌美装単体で設備投資して減価償却費が増えた。利益額を見ながら修繕費や備品消耗品を買っているのが実情である。

## ■貸借対照表

### <資産の部>

【流動資産】	3758 万円	
(現金・預金内訳)		
飯田信用金庫	260,475 円	
八十二銀行	1,544,019 円	
同上	497,824 円	
郵便局	1,579,354 円	
PAYPAY 銀行	2,935,869 円	
アルプス中央信金	436,201 円	
みなみ信州農協	342,251 円	
長野銀行	404,855 円	
長野県信用組合	2,275,992 円	
八十二銀行定期	1,065,615 円	リレー積立
長野県信用組合	580,000 円	定期積金
現金	100,000 円	
小口現金	922,492 円	
合計	23,807,083 円	

である。

前年度の報告書で、不良債権化している取引先が 2 社あると記載した。そのうち 1 社が倒産し貸し倒れが生じた。(26 万円) 経営者は変ったが、引き続きメンテナンス契約ができたのが不幸中の幸いである。また、もう 1 社は、社長と話しができ、返済が進んでいる。但し、メンテナンス契約を継続しながらなので、徐々にしか減っていかない。コロナが収束するまでは、見守りながら回収に努めていく。

### 【固定資産】 1 億 442 万円

土地が 123 万円減少しているが、土地を売却したのではなく、飯田市企業振興促進事業補助金(土地取得費用の 10%)を受けられたことによる圧縮記帳を行ったものである。

建設仮勘定で 599 万円計上している。これは、温泉の素.com が 2021 年 9 月に飯田市内の食品工場の工場閉鎖に伴い、液体混合釜 2 機他を 909 万円で中古取得した。599 万円は、当社の建物にボイラーや水道、ポンプ等の設備が必要なため、建物改修を行った費用である。3 月末に稼働したものの、貯水しボイラーで加温し、混合羽根による攪拌を確認したことしか使用せず、販売商品の製造に至っていなかったため、工事費の 599 万円は、建設仮勘定として計上してある。

その他、今期の主な動きを参照されたい。



## <負債の部>

### 【流動負債】

ネットポイント未払金は、インターネット販売した際に、お客様にポイント付加している残高を3月末日の総計で計上している。したがって、次回購入時にポイントを使った場合に値引きするものなので、負債であって、実質負債ではないと考えている。

今回初めて、ネットポイント未払金が減少した。永年ネット通販してきているが初めて減少した。ちなみにネットポイント未払金は、自社サイトである塩素.jp、温泉の素.com、入浴剤.netの売上に応じて付加されるポイントである。楽天、Amazonへの支払い手数料を考えれば、自社サイトのポイント付加のほうが当社にとってのメリットが大きい。

前受金があるが、これは決算数字を予想しながら、飯田市企業振興促進事業補助金956万円のうち、393万円を次期の益金になるように今期末は前受金としている。決算を黒字にするために、956万円全て雑収入として計上しても差し支えない処理だが、あえて赤字を選択したのである。

短期借入金は全て温泉の素.comからのものであるが、補助金が採択され、設備投資することになったので、返済できずに残った。

### 【固定負債】8373万円（-1225万円）

内訳：長期借入金	8373万円（-1225万円）
八十二銀行	3630万円（-360万円）
長野県信用組合	2670万円（-740万円）
日本政策金融公庫	16万円（-256万円）
鈴木 詠里子	1073万円（+151万円）
鈴木 健太郎	983万円（-20万円）

金融機関からの負債は予定通り返済している。建物取得に合わせて、コロナ資金を活用して借り入れた資金がある。（残り2年間は実質無利息・・・令和6年4月より元金返済+利息）今期は有利子負債を1356万円返済した訳であるが、減価償却費が1688万円であった。減価償却費相当は返済しておくべきだったと考えている。倒産防止共済の払込みが終わるので、その分くらいを積み立てていき、補助金事業の先行投資分を考えながら期末に繰り上げ返済するしないを検討したい。

## <純資産の部>

### 【資本金】1000万円

増減なし。

### 【剰余金】699万円（-282万円）

### 【貸借対照表の総論】

予定通り返済している。

○資産の部では、

1. 保険積立金（生保 1/2 損金分）を解約すると 653 万円の返戻に加えて 457 万円程度の含み益が生まれること。＝（現金がいる場合には合算 1110 万円分の現金化が可能）

○負債の部では、

2. ネットポイントが 597 万円計上されていること（負債であって負債でない）
3. 前受金 393 万円は、次期には益金として計上すること
4. 長期借入金のうち社長や鈴木健太郎からの借入が 2056 万円計上されていて早期に返済する必要が無いこと。（余剰金に近い性質であること）

○その他の部では、

5. 倒産防止共済の納付済分 760 万円分（貸借対照表には掲載されていない）を任意解約すると 646 万円近く返戻されること。（あるいは貸付けを受けることもできる）  
（本書作成時点で、40 ヶ月満額 800 万円に達しているので即時全額返戻できる。）

以上のことから、安定していると考えている。

固定資産のうち、税法上償却できない土地の資産が 2249 万円ある。資本金はその程度は欲しいと考えている。社長勘定の借入を資本金に回せば簡単にできるのであるが、増資を行った場合に、下請法上の書類手続きが増えたり、公正取引委員会への報告書類が増えたりと、社長しかできない処理が途端に増える。あまりメリットがないので増資を躊躇している実情がある。

## ■【来期 第24期の重点施策】

### 【売上面】

ネット部門による売上増加を期待する。

温泉の素.comにおいて、液体混合釜を取得したことにより、今まで粉末の商品だけにとどまっていたが、液体物を検討できるようになった。液体充填機がまだ不足しているが、まずは小ロット手作業で対応していき、見込みができたときに充填機を取得したい。

また、事業再構築補助金事業により、食品添加物の小分け製造事業を行うことができるようになった。競合他社のいない分野で模索したい。

さらには、同補助金事業で異物分析検査事業を行うとしているので、まずは経験を積み重ねる上で採算を考えずにチャレンジしていきたい。当社はビルメンテナンスとして旅館や食品工場等と取引があるので、まずはチラシをつくり手配りしてみる。

既存取引先から、2年越しに保冷剤の試作を頼まれていて、これまで幾度となく試作を重ね、データ取りをしてきた。ようやく、研究室レベルの試作では、他社（大手のアウトドア用品店）の保冷剤よりも、家庭用冷蔵庫で凍結しやすく持続性が高い保冷剤ができたので製品化する。上記記載の液体混合釜が活躍する。

### 【財務面】

日本政策金融公庫より借り入れた資金が次期4月で返済完了となる。

2010年に中古不動産の取得に合わせての借入だったが、途中、社屋の移転などで借り換えを行っていたので、今回ようやく終わる。但し、日本政策金融公庫なので、今後の事業継続や発展を考えたときに取引を継続しておきたい。他行と比較すると利率は高めだが、社長の連帯保証も不要であるので折り返しをしておきたい。（本書作成時点では、折り返しを受け、2022年5月に2360万円（毎月元金20万円×10年返済）の融資を受けている。

2022年5月時点での毎月の返済額は以下の通りである。

金融機関	毎月返済金額	利息(据え置き利子補給有り分)
八十二銀行	30万円	利息 17152円と (6624円)
長野県信用組合	20万円	利息 7724円と (15457円)
日本政策金融公庫	なし	
合 計	50万円	利息 24876円 と (利子補給有分の利息 22081円)

返済増加予定の金融機関	毎月返済金額	返済開始月
日本政策金融公庫	20.0万円	令和4年7月 (利息 17780円/7月初回のみ) (6月は利息 9936円)
八十二銀行	7.1万円	令和6年4月
長野県信用組合	16.7万円	令和6年4月
合 計	43.8万円	

#### 【補助金】

事業再構築補助金の事業が開始している。早期に販売につなげたい。

#### 【RPA 導入】

ロボティックプロセスオートメーションにより、事務の効率化に努めたい。

#### 【研修旅行】

宮古島研修を予定している。塩の製造過程を学ぶとともに、島内を巡り、塩のブランド化ができてきている実情を、販売店員さんの声も直に聞きながら学びとしたい。宮古島には温泉の数件あるが、本州内の温泉地と宮古島との温泉地との比較を行い、リゾート温泉地の販売戦略、商品化戦略を学んできたい。

#### 【総括】

入浴剤.net（一般顧客向け自社サイト）、楽天「kirareru」（一般顧客向けショップ）  
Amazon「抗菌美装」で売上を上げていく。伸びつつあるのでこのまま増やしていく。

#### ■税理士事務所の変更

今回の決算より税理士事務所が変わった。経緯はこうである。

永年、お世話になってきていた税理士事務所である。先代の先生から、ご息子さんに世代交代しつつある中で、近年はご息子先生が担当して下さっていた。弊社は創業より自社で経理情報をパソコン入力し、期末後に紙ベースで税理士事務所に手渡し、税理士事務所で決算情報を修正し申告していたが、ご息子先生より、税理士事務所と同じ会計システムで入力を行いデータでやりとりしたいとの強い要望がなされた。確かに、これまでほぼ右肩上がり成長し、売上規模が増えるとともに支払い件数も増え、決算時の処理量が増えたのは想像が付き、今後も見据えた中で、どこの会計事務所も IT 化の方向で行かざるを得ないのも想像がつく。

当社も M 社の会計システムを検討したものの、5 年契約で 600 万円というコスト（グループ会社全体で）を考えると躊躇し、しばらくは既存の会計ソフトを使いながら、CSV で情報変換し税理士事務所に送るといった選択しかないと思い税理士事務所を変えることにした。

すでに温泉の素.com では、①ネット注文からの情報を元に、②製造指示システムに取り込み、③販売管理ソフト経由で、④会計ソフトにデータ移行するシステムができあがっている。販売管理ソフトと会計ソフトは、同一の会計ソフト会社であり、会計ソフトを変えらるとなると販売管理ソフトも変えることになり、もしくは手入力するか、2 重で会計ソフトの運用になり、あまり上手くない。インボイス制度が目前に迫る中で、新しいソフトに社内教育するのも手間が掛かるし、落ち着いてからでもよいのではとは思っているの、いずれにしても引き続き、グループ会社全体として、会計ソフト、販売管理ソフト、給与ソフトも含め検討していく。

なかなか希望に合う税理士事務所が見つからず時間が掛かったが、ようやく頼み込んで引き受けて下さった。色々調べてみると、これまでの税理士事務所も、今までかなりお値打ちに申告等して下さっていたようです。これまでお世話になった税理士事務所様に心より御礼申し上げます。